



家庭教育セミナー

爽やかな秋空の下 親子で姫街道を歩こう♪

【県文化財保護指導委員】

講師：後藤 清司さん

■ と き：9月27日(日) 予備日 10月11日(日)

◇ 午前9時30分～午後1時

◇ 現地集合・現地解散

■ 参加費：無料 ■ 定員：15組(抽選)

■ 対象：小学生とその保護者(同伴でお願い致します)

■ 持ち物：弁当、飲み物、野外の服装(運動靴、帽子など)

■ 募集：9月20日(日)までに東陵地区市民館 窓口
又は ☎/FAX(0532)64-8088 ✉ toryo@tees.jp

姫街道(ひめかいどう)は、浜名湖の北側、本坂峠を經由して静岡県磐田市見付町(東海道見附宿)と愛知県豊川市御油町(東海道御油宿)を結ぶ街道である。道程約60キロメートル。古くは東海道の本道で、二見の道(ふたみのみち)と呼ばれていた。中世以降、浜名湖南岸の往来が盛んになると長距離を移動する利用者は減り、地震などで浜名湖南岸が通行不能になった後に迂回路としてよく利用された。本坂峠を經由したことから本坂越(ほんざかごえ)、本坂通(ほんざかどおし/ほんざかどおり)、本坂道(ほんざかみち)、本坂街道(ほんざかかいどう)などと呼ばれた。戦国時代に街道が整備され、江戸時代には東海道に付属する街道とされ、宿が置かれた。幕末頃から姫街道の呼称が定着し、明治以降、新道が出来て本坂峠はトンネルで通過するようになり、峠越えの道は廃道となっている。